

# DATA DISTRO 6

ユーザーマニュアル



株式会社 サウンドハウス  
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3  
TEL : 0476(89)1111 FAX : 0476(89)2222  
<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)

## はじめに

この度は American DJ の DATA DISTRO 6 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。DATA DISTRO 6 は DMX512・RDM 信号を効率的に分配することができるコンパクトなデータスプリッタです。5PIN XLR 入力端子を1系統とスルー端子を1系統、出力6系統を搭載し、複数機器へ安定した信号を供給します。本製品を安全に、末永くご利用いただくため、ご利用頂く前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

## 特徴

- DMX512/RDM プロトコル切り替えスイッチ
- 電氣的にアイソレートされた6系統の出力
- 1系統の5PIN XLR入力端子
- 1系統のスルー・アウト端子
- DMX / RDM 信号の増幅、及び分配機能

## 付属品

- 電源ケーブル x 1
- クランプ用マウントブラケット x 1
- マウント用ストラップ x 2



本機器は必ず適切に接地してご利用ください。



分解や自己修理、また本体や付属品の改造、本マニュアルの安全指示に従わない使用によって生じた損害は、すべて製品保証の適用外となります。



本機器を調光器（ディマーパック）に接続しないでください。

作業を行う際は、必ず電源を切り、プラグを抜いてください。

本機器の最大周囲温度は 45°C です。この温度を超える環境では使用しないでください。

可燃物は必ず本機器から離して設置してください。



本機器が急激な温度変化にさらされた場合（例：寒い屋外から暖かい室内へ移動した直後など）、すぐに電源を入れしないでください。環境温度の変化によって内部に結露が発生し、機器内部を損傷する恐れがあります。

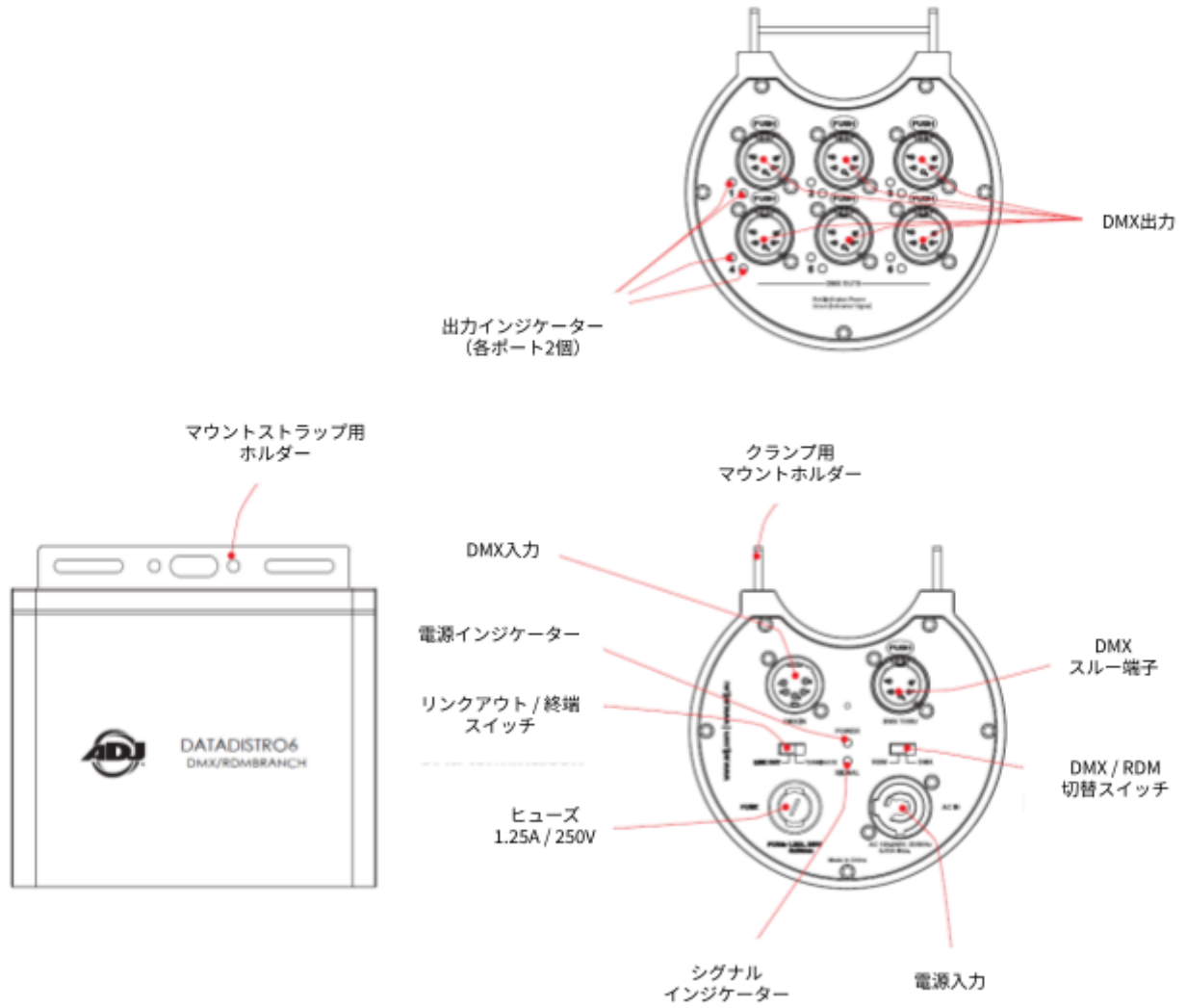
## 安全上の注意

1. 安全のため、本マニュアルをよく読み、内容を十分に理解してから使用してください。
2. 修理が必要となった場合に備え、梱包箱は保管してください。
3. 本機器の内部または外部に水や液体をこぼさないでください。
4. 使用する電源が本機器の定格電圧と一致していることを確認してください。
5. いかなる理由でも本体カバーを取り外さないでください。内部にユーザーが扱える部品はありません。
6. 長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
7. 本機器を調光器に接続しないでください。
8. 本体に損傷がある場合は使用しないでください。
9. カバーを外した状態で使用しないでください。
10. 感電や火災の危険を避けるため、本機器を雨や湿気にさらさないでください。
11. 電源コードが破損している場合は使用しないでください。
12. 電源コードのアースピンを抜いたり破損させたりしないでください。これは内部短絡時の感電・火災リスクを低減するためのものです。
13. 接続作業を行う前に必ず電源を切り、プラグを抜いてください。
14. 適切な換気が確保できる場所に設置し、壁から約 15 cm 以上離してください。
15. 本機器は屋内専用です。屋外で使用した場合、保証は無効となります。
16. 本機器は安定した安全な場所に確実に取り付けてください。
17. 電源コードは踏まれたり挟まれたりしないよう、人の通行の妨げにならない経路に配線してください。
18. 最大周囲温度 45°C を超える環境では使用しないでください。
19. 可燃物は本機器から離して設置してください。

以下の場合、サービス技術者による点検・修理が必要です

1. 電源コードまたはプラグが損傷している場合
2. 本機器に異物が落下した、または液体がこぼれた場合
3. 本機器が雨や水にさらされた場合
4. 動作が不安定、または性能に著しい変化が見られる場合

## 各部の名称



## 設置について



### 可燃物に関する警告

本機器は、可燃性素材・装飾物・火工品などから 0.2 m 以上 離して設置してください。



### 電気接続について

電气的な接続および設置作業は、必ず 有資格者 が行ってください。



### 最小離隔距離

周囲の物体・表面との最小距離は 40 フィート（12 m）を確保してください。



### 重要警告

本機器の設置は、有資格者が行ってください。

## 設置に関する安全指示

本機器を設置する際、トラスや設置面は、本体および取り付けられるすべてのアクセサリーの総重量の 10 倍以上を、変形することなく支えられる強度を備えている必要があります。また、本機器は必ずセーフティワイヤーなどの二次的安全装置で確実に固定してください。

- 最大周囲動作温度は 113°F（45°C）です。この温度を超える環境では使用しないでください。
- 歩行者の通路、休憩スペース、または無関係な人が手で触れられる場所から離して設置してください。
- 設置・取り外し・メンテナンス作業中は、決して本機器の真下に立たないでください。

## 高所設置に関する重要事項

高所への設置は、必ずセーフティワイヤーなどの二次的安全装置で確実に固定してください。

高所設置には、以下のような専門的知識と経験が必要です：

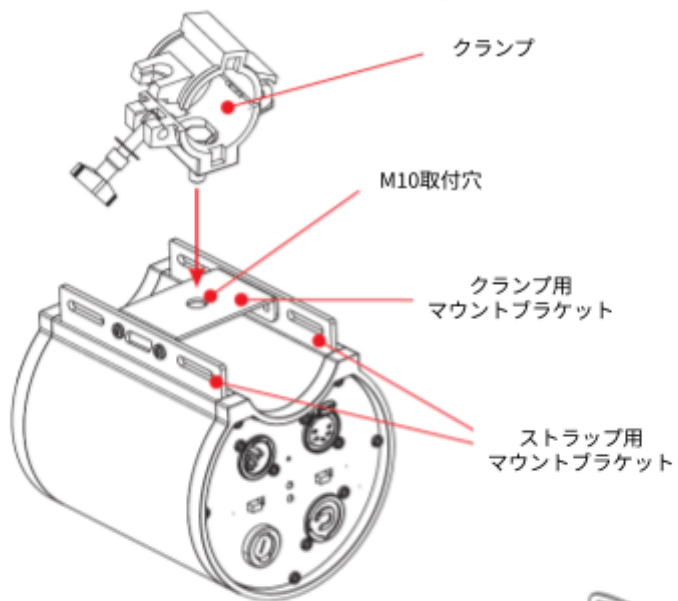
- 作業荷重限界（WLL）の計算
- 使用する設置資材に関する知識
- 設置資材および本機器の定期的な安全点検

これらの資格や経験がない場合、絶対にご自身で設置を行わないでください。

## 定期点検

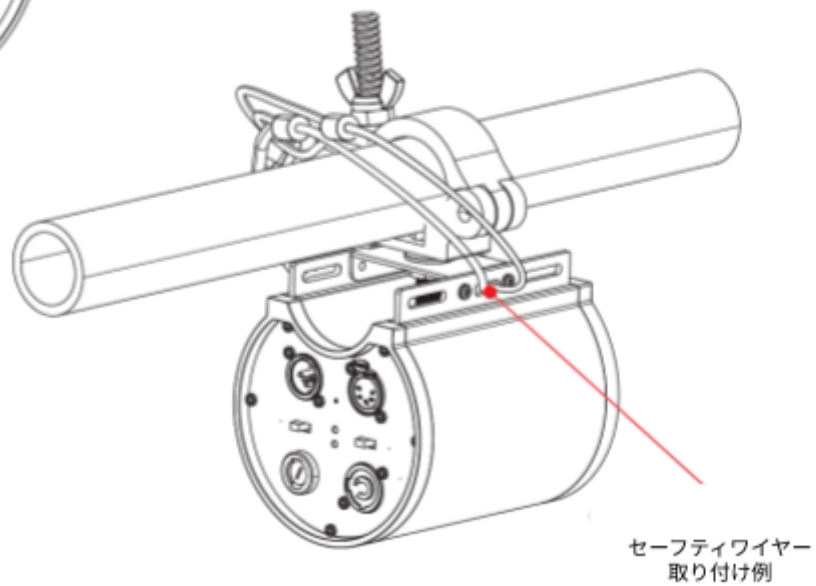
定期的に資格をもつ専門技術者による点検をおこなってください。

## クランプによる取り付け



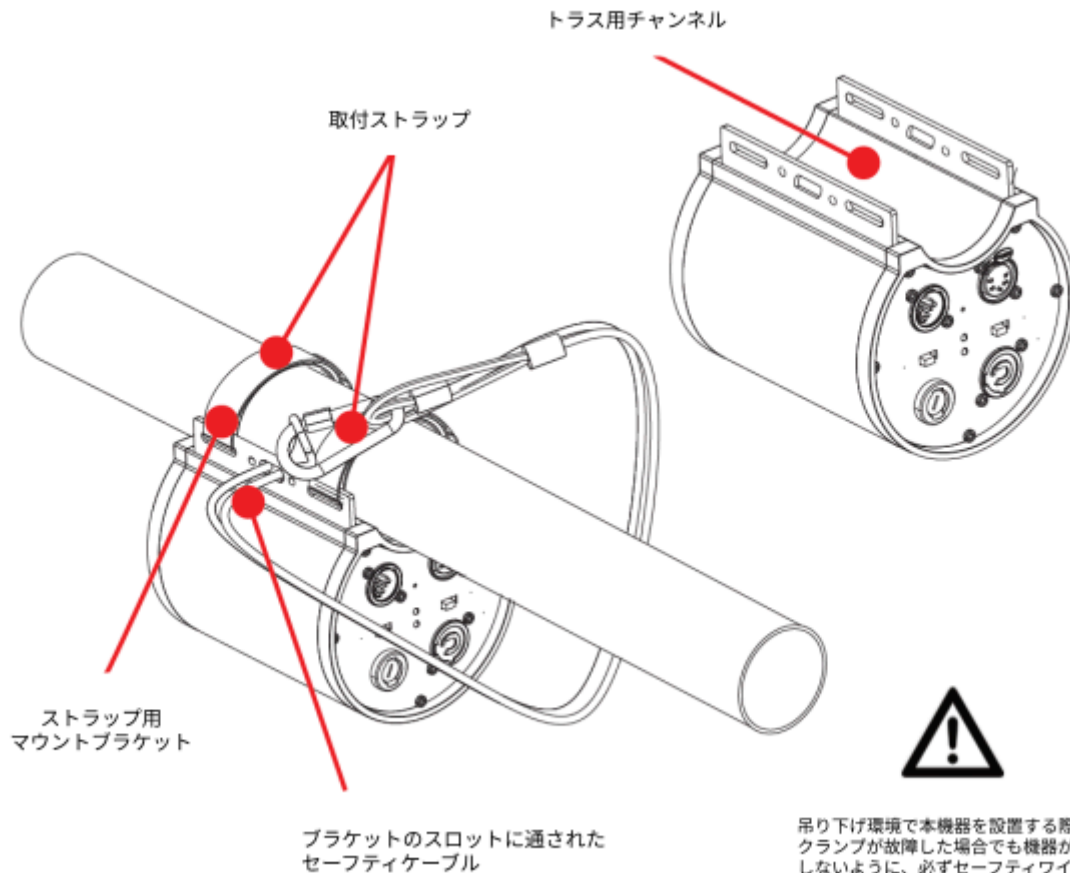
### セーフティ・ワイヤーについて

吊り下げ環境で本機器を設置する際は、クランプが故障した場合でも機器が落下しないように、必ずセーフティワイヤーを取り付けてください。



## ストラップによる取り付け

本機器は、本体上部にあるストラップ用マウントブラケットを使用して、トラスに直接取り付けることができます。取り付けの際は、クランプ用ブラケットを取り外し、本体上部の半円形チャンネルがトラスにしっかりと収まるように、本体をトラスに押し当て、付属のストラップの一方をストラップ用マウントブラケットのスロットに通し、トラスの上を回して反対側のブラケットのスロットに通します。ストラップはトラスの上を通るループ状になる必要があります。同じ手順をもう一方のストラップでも行ってください。安全な取り付けのため、本機器には2本のストラップを必ず使用する必要があります。この段階では、セーフティワイヤーを取り付けるため、ストラップはまだ締め付けず緩めた状態にしておきます。次に適切な耐荷重を備えたセーフティワイヤーを取り付けます。セーフティワイヤーをストラップ用マウントブラケット中央のスロットに通し、トラスとブラケットの内側の間を通して上方向へ導きます。最後に、ストラップを締め付けて本機器を確実に固定してください。



## リモート・デバイス・マネージメント (RDM)

リモート・デバイス・マネージメント (RDM) は、照明用 DMX512 データ規格に追加されるプロトコルで、DMX 機器の設定変更や監視を遠隔で行うことを可能にします。特に、機器が手の届きにくい場所に設置されている場合に有効です。RDM により、DMX512 システムは双方向通信となり、RDM 対応コントローラーは機器に信号を送るだけでなく、機器側からの応答 (GET コマンド) を受け取ることができます。また、コントローラーは SET コマンドを使用して、通常は機器本体の表示画面で設定する DMX アドレス、DMX チャンネルモード、温度センサー情報などのパラメーターを変更できます。

注意：RDM を正しく動作させるためには、DMX データスプリッターやワイヤレスシステムを含む、システム全体で RDM 対応機器を使用する必要があります。

デバイスID	モデルID	RDMコード	パーソナリティID
N/A	N/A	0 x 1900	N/A

すべての RDM 対応機器が、RDM の全機能をサポートしているわけではありません。そのため、必要とする機能が使用予定の機器に含まれているか、事前に必ず確認してください。

## オペレーション

### DMX モード

DMXモードを有効にするには、RDM/DMX スイッチを「DMX」の位置に切り替えます。Data Distro 6 は、入力された DMX 信号を RDM を含まない状態で、6 系統の DMX 出力ポートすべてに分配します。

### RDM モード

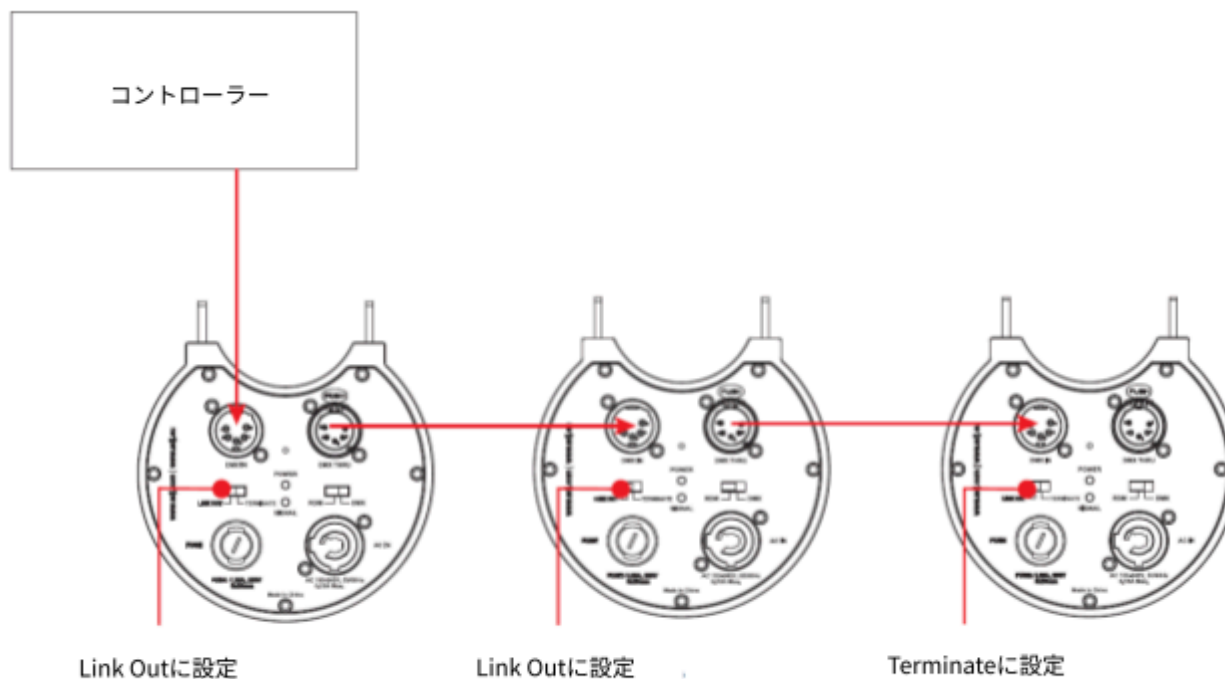
このモードを有効にするには、RDM/DMX スイッチを「RDM」の位置に切り替えます。Data Distro 6 は、入力された DMX 信号を RDM を含む状態で、6 系統の DMX 出力ポートすべてに分配します。

### リンクアウト／終端スイッチ

スイッチが「Link Out」の位置にある場合、Data Distro 6 は DMX 信号を「DMX Thru」ポートにも通過させます。この信号は、以下のように複数の Data Distro 6 を直列に接続する際に使用できます。

1 台目の「DMX Thru」ポート → 次のユニットの「DMX In」ポート

この方法で最大 32 台まで連結可能です。最後尾のユニットのみ、スイッチを「Terminate」の位置に設定する必要があります。



## 清掃・メンテナンス

### 清掃

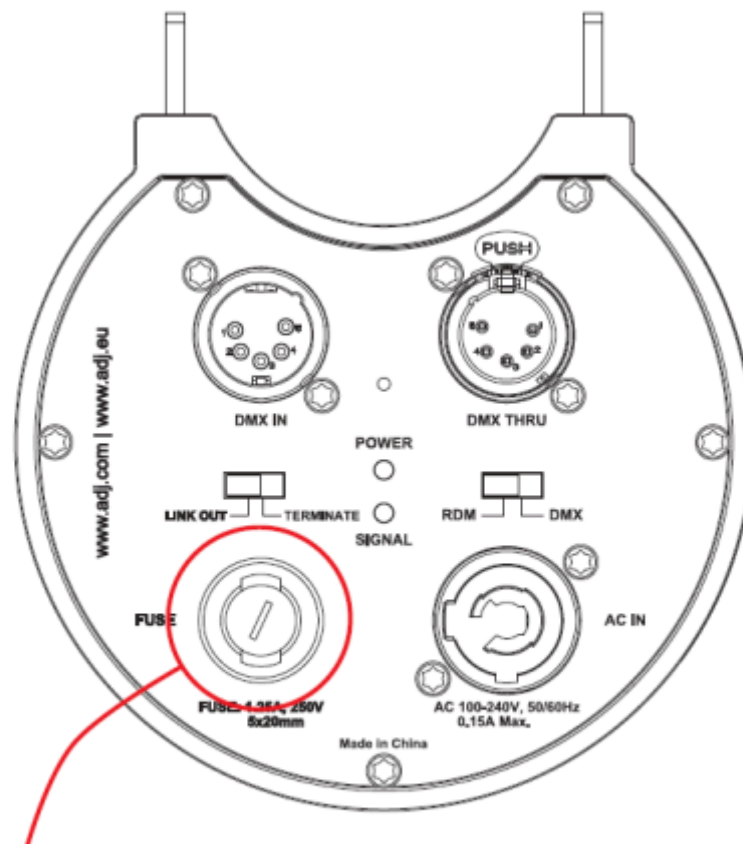
霧（フォグ）、煙、粉じんなどの残留物により、本体外装の清掃を定期的に行う必要があります。

- 通常の表面クリーナーと柔らかい布を使用し、外装ケースを定期的な拭いてください。
- 清掃後は、必ずすべての部品が完全に乾燥していることを確認してから、電源を再接続してください。

清掃頻度は、機器が使用される環境（例：煙、フォグ残留物、粉じん、湿気）によって異なります。

### ヒューズの交換

本機器には、背面の電源ソケット横にヒューズが搭載されています（下図参照）。ヒューズを交換する際は、必ず同一仕様のヒューズ（T1.25A / 250V）を使用してください



ヒューズソケット

## 仕様

### プロトコル

- DMX512・RDM

### 物理仕様

- トラス取付用ブラケット（ベルクロストラップまたは M10 ねじ式クランプ対応）
- 5ピン XLR DMX 入力 ×1（内部）
- 5ピン XLR DMX スルー ×1（内部）
- 5ピン XLR DMX 出力 ×6（内部）
- リンク終端スイッチ
- DMX/RDM プロトコル切替スイッチ
- ロック式電源入力ソケット（内部）

### 寸法および重量

- 長さ：120 mm
- 幅：137.75 mm
- 高さ：129.55 mm
- 重量：0.83 kg

### 電源

- AC 入力：100–240 V、50/60 Hz
- 消費電力：2.7 W（120 V 時）、2.9 W（230 V 時）
- 電源入力保護：ヒューズ T1.25A / 250V（5.2 × 20 mm）

### 熱仕様

- 動作周囲温度：32°F ~ 113°F（0°C ~ 45°C）
- 湿度：75% 未満
- 保管温度：77°F（25°C）

### 認証および IP 等級

CE / cETLus / UKCA / FCC / IP20

# 寸法図

